

【関西広域連合（滋賀県）】

東北地方太平洋沖地震への対応について（第26報）

このことについて、現在の情報を提供します。

主な動きについて

- ・ 4/2 医師会から医師派遣
（福島県会津若松市 医師1名 福島県西郷村 医師2名 その他3名）
- ・ 4/2 草津総合病院が福島県会津若松市内および会津坂下町の各避難所に支援
（1チーム 5名）
- ・ 4/4 関西広域連合現地連絡所職員 第12陣2名出発

【人員および車両等の派遣】

1 関西広域連合現地連絡所職員の派遣（要望等情報収集および連絡調整）

3/14～ 会津若松現地連絡所および福島現地連絡所を開設

4/4時点 福島県災害対策本部 2名、 会津若松合同庁舎 2名 計4名
累計11隊23名

4/4 第12陣2名が出発

2 避難所支援職員の派遣（避難所の運営支援、被災者の滋賀県受入案内等）

3/22～ 福島市内の各避難所

第1陣：あづま総合運動公園等6ヶ所（第2陣以降4ヶ所）

4/4時点 第5陣：

避難所名	避難者数	派遣職員数(15名)
あづま総合運動公園	1200人	9名
自治研修センター	222人	2人
福島商業高校	168人	2人
福島東高校	113人	2人

累計 5隊 76名

3 保健師等派遣（健康相談や心のケア、衛生面の支援活動等）

3/15～ 仙台市内、福島市内、小野町の避難所で活動

3/31～4/1 福島県小野町、石川町で支援

4/4 福島県小野町、石川町、田村市で支援

4/4時点

1チーム 5名
累計 7チーム 28名

4 医師会からの医師派遣

4/2 福島県会津若松市 医師1名

福島県西郷村 医師2名、その他3名

- 5 医療救護班の派遣（被災地の救護所における医療救護活動）
 3/17～ 会津若松市内および周辺市町で活動
4/2～4/4 草津総合病院が福島県会津若松市内および会津坂下町の各避難所に支援
4/4 時点 1チーム5名
 累計 8チーム35名
- 3/19～ 現地調整員
4/4 時点 1名
 累計 8名
- 6 災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣
 3/11～3/15 花巻、仙台、石巻、福島、つくば等搬送拠点で活動
4/4 時点 活動終了
 累計 11チーム62名
- 7 心のケアチームの派遣（心身の不調をきたした避難住民に対して心の健康相談や治療など）
 4/1～ 福島市、伊達市、二本松市等で活動
 累計 1チーム6名
- 8 滋賀県緊急消防援助隊の派遣（救急搬送等を実施）
 （陸上部隊）
 3/11～4/1 福島県新地町、南相馬市、二本松市等で活動
4/4 時点 活動終了
 累計 197隊696名
- 3/31 第7次隊、出動なし
 （航空部隊）
 3/12～3/28 福島空港を拠点に上空偵察、救助活動、救急搬送を実施
4/4 時点 活動終了
 累計 6隊32名
- 9 給水車の派遣（企業庁）
 3/14～3/23 岩手県大船渡市 給水車（2t）作業員2名(数日毎に交代)
4/4 時点 活動終了 累計 1台5名
- 10 し尿処理支援
 20日～26日 宮城県大崎市（山形県酒田市のし尿処理プラントに搬送）
4/4 時点 活動終了 累計 支援車1台 3名
- 11 管路調査要員の派遣
 27日～ 宮城県東松島市、多賀城市内で土木技術職員による管路施設の一次調査を実施
4/4 時点 累計 1班 県1名・市町3名

【物資の提供および搬送】

- 1 県備蓄物資の送付（協力団体：滋賀県トラック協会）
 - 3/14・3/19 毛布 9,300 枚、乾パン 56,192 食、アルファ化米 11,100 食、サバイバルフーズ 7,680 食、
 - 3/17 医療用医薬品等：内服薬 66 品目約 23,000 個、注射薬 6 品目 100 本、衛生基材（血圧計、体温計等）53 品目
- 2 陸上自衛隊等による救援物資の搬送
 - 3/17～ 市町および民間団体からの救援物資受付
 - 4/4 時点 申込み 55 件、うち輸送(予定含む)41 件

【その他県内団体等からの支援】

- 1（社）滋賀県薬剤師会から薬剤師ボランティアの派遣
 - 3/19～ 福島県福島市、郡山市、田村市・宮城県石巻市、南三陸町内に 8 名(累計)派遣
- 2（社）滋賀県看護協会から災害支援ナースの派遣
 - 3/24～4/1 宮城県内に看護師 6 名（累計）派遣
 - 3/31～4/4 岩手県内に看護師 2 名（累計）派遣
- 3 滋賀県環境事業協同組合からし尿処理収集車両等の派遣
 - 3/20～3/26 し尿収集車両等 20 台、作業員 31 名派遣
- 4 滋賀県薬業協会・滋賀県製薬工業協同組合からの一般用医薬品等の寄附
 - 3/24～ 一般用医薬品等 38 品目(総合感冒薬、下剤、マスク等)約 40,200 個
総額 34,346 千円
- 5 アークレイ(株)からの糖尿病血糖自己測定器の寄附
 - 3/30～ グルコカード G + メーター、消毒用脱脂綿等、総額 6,075 千円

【避難者の受入】

避難者の受入状況(4月4日現在)

受け入れ可能施設		避難の 相談件数	受け入れ実績		退所状況		現在の受け入れ 状況	
施設数	可能人数		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
375	4,176	383	52	180	21	83	31	97

避難者の入居状況(4月4日現在)

施設	提供戸数	入居戸数
県営住宅	34戸	1戸
市町営住宅等(参考)	87戸	18戸
合計	121戸	19戸

避難者受け入れ状況総括

平成23年4月4日17:00現在

	受け入れ可能施設		避難に関する 相談件数	受け入れ状況							
	受け入れ実績			退所状況		現在の受け入れ状況					
	施設数	可能人数		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数		
昨日までの実績	372	4,164	378	52	178	18	78				
本日の状況	3	12	5	0	2	3	5				
合計	375	4,176	383	52	180	21	83	31	97		

災害避難者市町別受け入れ実績（避難所のみ）

平成23年4月4日17:00現在

市町名等	施設数		受け入れ実績（累計）	
	施設数	受け入れ可能人数	世帯数	人数
滋賀県	6	112	8	36
国	1	12		
個人	208	832	8	34
大津市	2	160		
彦根市	3	12		
長浜市	22	394		
草津市	5	37		
東近江市	13	651		
近江八幡市	5	42		
守山市	2	40		
栗東市	1	37		
甲賀市	2	42	4	9
野洲市	1	30	1	3
湖南市	6	135		
高島市	21	88		
米原市	17	249		
日野町	12	345	8	22
竜王町	8	213	3	7
愛荘町	20	336	4	20
豊郷町	9	190	6	21
甲良町	8	134	1	1
多賀町	3	85	9	27
合 計	375	4,176	52	180

東北地方太平洋沖地震に伴う防護服の提供について

福島県からの要請を受けて、化学防護服 1,000 着を下記により提供することとしましたので、お知らせします。

今回は、福島市内にある避難所の支援職員を派遣するバスを利用して現地に届けます。

記

- 1 提供物品
防護服
- 2 数量
1,000 着
- 3 搬入場所
福島県災害対策本部
- 4 発送日
4月5日(火)
9:00頃 積込作業
9:30 県庁を出発
- 5 提供する防護服について
鳥インフルエンザ対策として滋賀県が備蓄している化学防護服が放射性物質から身体を防護する効果があるため、今回提供するものです。

【関西広域連合（京都府）】

被災地への支援物資の仕分け・発送ボランティアの募集について

平成 23 年 4 月 4 日
京都府災害支援対策本部
京都府福祉・援護課
電話：075-414-4622

京都災害ボランティア支援センターでは、府民の皆さまからお寄せいただいた支援物資を被災地に届けるため、別添のとおり物資の仕分けや発送作業などをお手伝いいただくボランティアを募集しますので、お知らせします。

担当：福祉・援護課
地域福祉・福祉のまち推進担当
電話：075-414-4622（青木）
075-414-4551（田淵）

平成23年4月4日

京都災害ボランティア支援センターからのお知らせ

京都災害ボランティア支援センターでは、京都府が実施する支援物資の募集に際し、物資の仕分けなどをお手伝いいただけるボランティアを募集します。

活動日：平成23年4月8日（金）、9日（土）、10日（日）、11日（月）

活動時間：各日9：30～16：00

活動場所：向日町競輪場 選手管理センター（向日市寺戸町西ノ段5番地）
（阪急東向日駅徒歩約15分、JR向日町駅徒歩約20分）

募集人数：平成23年4月8日（金）・11日（月）/各日10人程度
4月9日（土）・10日（日）/各日30人程度

受付開始：平成23年4月5日（火）から

申込方法：京都災害ボランティア支援センターのホームページ
（<http://www.saigai-v.com>）から申込用紙をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、FAX又はE-mailにてお申し込みください。

必要事項 氏名・年齢・性別、電話、Fax、E-mail、ボランティア保険加入の有無、災害ボランティア経験の有無

申込先

京都災害ボランティア支援センター

FAX：075-741-6006 E-Mail：kyoto.saigai.v@gmail.com

電話でのお申し込みは受け付けておりません。ご了承ください。

活動していただくことになった方には、詳細を追ってご連絡いたします

締切日：平成23年4月6日（水） 13：00必着

注意事項

- ・昼食・交通費は各自ご負担ください。
- ・駐車スペースはありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- ・ボランティア保険に入っていない方は当日ご加入いただきます。300円をご負担いただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。



京都災害ボランティア支援センター

【住所】京都市下京区東洞院通七条下る東塩小路町676-13メルパルク京都1階

【開所時間】11時～20時 休館日：毎週水曜日（祝日の場合は開館）

【電話番号】075-741-6001（代表） 【FAX番号】075-741-6006

【メールアドレス】kyoto.saigai.v@gmail.com 【URL】<http://www.saigai-v.com>

東日本大震災に係る義援金の寄付について

平成23年4月4日
建設交通部指導検査課
中村理事 075-414-5220

(社)京都府建設業協会及び建設業労働災害防止協会京都府支部から、京都府を通じて東日本大震災に係る義援金を贈りたいとの申し出がありましたので、お知らせします。

記

- 1 日 時
平成23年4月5日(火) 午後1時30分～
- 2 場 所
太田副知事室
- 3 出席予定者(5名)
(社)京都府建設業協会
会長 岡野 益巳、副会長 田中 俊介、京都支部長 小崎 学
建設業労働災害防止協会京都府支部
支部長 岡野 益巳(協会会長兼任)
両団体事務局
専務理事 平岡幹弘、企画課長 豊嶋 厚
- 4 義援金の内容
社団法人 京都府建設業協会から、300万円
建設業労働災害防止協会 京都府支部から、200万円
- 5 府の対応者
太田副知事
同席 建設交通部指導検査課：中村理事
健康福祉部福祉・援護課：青木課長

<参 考>

- 【社団法人 京都府建設業協会】(建設業法に基づく建設業者団体)
設立日 昭和23年3月
代表者 会長 岡野 益巳
会員数 263名(平成23年4月現在)
主要業務
公共工事の円滑な推進、経営基盤の強化に関する諸業務
人材育成に関する諸業務、各種研修会・講習会の開催など

【建設業労働災害防止協会 京都府支部】

(労働災害防止団体法に基づく厚生労働大臣認可団体)

設立日 昭和 39 年 9 月

代表者 支部長 岡野 益巳

会員数 1173 名 (平成 23 年 1 月現在)

主要業務

労働災害の防止を目的とした諸業務

(労働災害防止大会の開催、現場パトロール、各種講習の開催など)

府民の皆様からの支援物資の発送について

平成 23 年 4 月 4 日
京都府災害支援対策本部
物資等支援班 075-414-5936

3 月 28 日から 31 日までの 4 日間で、府民の皆様から提供のあった支援物資を下記のとおり発送します。

記

1 発送日時、場所

- ・平成 23 年 4 月 4 日（月） 午後 2 時予定（トラックへの積込み開始）
午後 3 時予定（トラックの出発）
- ・京都向日町競輪場選手管理センターから出発

2 発送先

- ・日本通運福島西中央倉庫（福島県福島市）

3 提供のあった支援物資

- ・缶詰 17,862 缶
- ・簡易スープ、味噌汁 50,650 食
- ・栄養調整食品 5,337 個
- ・缶入りジュース 27,109 本

東北地方太平洋沖地震等に係る「支援対策総合相談窓口」の状況

1 相談件数

4月4日 13時00分 現在

	～4月3日	4月4日	計
相談件数(件)	534件	14件	548件

(京都市への相談件数は除く)

2 公的施設への入居状況

(参考)

	受入可能住宅数	現在入居住宅数	残住宅数	受入実績						現在までに退去した人		
				～4月3日		4月4日		合計		人数	世帯数	
				人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数			
京都府計	311	46	265	165	49	0	0	165人	49世帯	12人	3世帯	
内訳	府営住宅	132	32	100	108	33	0	0	108人	33世帯	4人	1世帯
	府職員住宅等	179	14	165	57	16	0	0	57人	16世帯	8人	2世帯
	福島県	-	-	-	142	41	0	0	142人	41世帯	12人	3世帯
	宮城県	-	-	-	14	6	0	0	14人	6世帯	0人	0世帯
	茨城県	-	-	-	9	2	0	0	9人	2世帯	0人	0世帯
市町村計	281	62	219	261	66	7	2	268人	68世帯	22人	5世帯	
内訳	京都市	200	61	139	253	64	7	2	260人	66世帯	22人	5世帯
	福島県	-	-	-	198	47	-11	-3	187人	44世帯	22人	5世帯
	宮城県	-	-	-	51	15	18	5	69人	20世帯	0人	0世帯
	岩手県	-	-	-	3	1	0	0	3人	1世帯	0人	0世帯
	茨城県	-	-	-	1	1	0	0	1人	1世帯	0人	0世帯
京都市以外	81	1	80	4	1	0	0	4人	1世帯	0人	0世帯	
内訳	福島県	-	-	-	(4)	(1)	(0)	(0)	(4人)	(1世帯)	0人	0世帯
内訳	福島県	-	-	-	4	1			4人	1世帯	0人	0世帯
府+市町村計	592	108	484	426	115	7	2	433人	117世帯	34人	8世帯	

京都市以外のうち4人は、民間住宅への入居斡旋

(参考)

UR都市機構	170	2	168	10	2	0	0	10人	2世帯	0人	0世帯
国家公務員宿舎	24	0	24	0	0	0	0	0人	0世帯	0人	0世帯
総合計	786	110	676	436	117	7	2	443人	119世帯	34人	8世帯

3 民間住宅提供申出件数・戸数(電話受付)

区分	件	戸・室	件	戸・室	件	戸・室
京都市内	73	139	0	0	73	139
乙訓・南丹地域	40	51	-1	-1	39	50
山城地域	54	61	4	4	58	65
中丹・丹後地域	57	79	0	7	57	86
計	224	330	3	10	227	340

(京都市受付分を除く)

[問い合わせ先]
 京都府災害支援対策本部(支援対策総合相談窓口)
 TEL:075-414-5930
 (府営住宅) 京都府建設交通部住宅課
 TEL:075-414-5366

【関西広域連合（大阪府）】

「東日本大震災」にかかる大阪府の支援状況等について

府の支援状況

【新着情報】

なし

【現在の状況】

- 1 大阪府の被災地支援（人的支援：府職員）
- 2 大阪府の被災地支援（人的支援：関係機関職員）
- 3 大阪府の被災地支援（人的支援：市町村職員）（府要請分）
- 4 大阪府の被災地支援（物的支援：府）
- 5 大阪府の受入れ支援
- 6 府民の皆様へのお知らせ

別紙のとおり

次回の報道提供は、4月5日（火）14時の予定です。
なお、状況に特段の変化があれば、随時、報道提供いたします。

1 大阪府の被災地支援（人的支援：府職員）

支 援 項 目	現在の派 遣人数	延べ派遣 人数	派遣期間	派遣先	支 援 内 容	問い合わせ先	備 考
総 合	関西広域連合岩手県事務所 （大阪府・和歌山県現地地 援本部）	5人	3月14日～3月19日 5人 3月18日～3月26日 4人 3月25日～4月1日 4人 4月1日～ 5人	岩手県	物的・人的支援のための岩手県庁と の調整や二丁ス把握等	災害等支援対策本部総合調整班 (4115-4116)	別途、和歌山県職員も 派遣
	物資集積所担当要員	12人	3月19日～3月23日 6人(都整) 3月20日～3月24日 6人(総務・議会) 3月23日～3月26日 6人(総務(税)) 3月25日～3月29日 6人(総務(税)) 3月28日～4月1日 6人(政企まか) 3月31日～4月5日 6人(教委) 4月4日～4月9日 6人(福祉)	岩手県内	岩手県内の支援物資集積場での物資 の搬入・搬出業務	災害等支援対策本部総合調整班 (4115-4116)	
	要員搬送	0人	3月20日～3月23日 2人(総務)	岩手県内	支援要員の搬送	災害等支援対策本部総合調整班 (4115-4116)	
	市町村役場支援連絡調整	2人	3月26日～3月31日 2人 3月29日～4月3日 2人 4月1日～4月6日 2人	岩手県内 市町村	府内市町村職員が岩手県内の市町村 役場で支援するための連絡調整員	災害等支援対策本部被災地支援班 (4113-4114)	別途、市町村職員を派 遣3(市町村職員)参照
	健康対策等連絡調整	0人	3月19日～3月25日 1人 3月24日～3月28日 1人 3月28日～3月31日 1人	岩手県内	健康対策等の現地連絡員	健康医療部健康医療総務課総務企 画G(7624)	
	健康相談活動等	12人	3月15日～3月19日 6人 3月16日～3月22日 4人 3月21日～3月25日 4人 3月24日～3月28日 4人 3月27日～3月31日 4人 3月28日～4月1日 4人 3月30日～4月3日 5人 3月31日～4月4日 4人 4月2日～4月6日 4人 4月3日～4月7日 4人	宮城県内 岩手県内	避難所での健康対策・衛生対策 避難所での健康対策・衛生対策	健康医療部保健医療地域保健感 染症課保健所G(2523) 健康医療部保健医療地域保健感 染症課保健所G(2523)	職種：保健師、事務等 (大阪府職員含む) 職種：医師、保健師、 機材職員含む)
	診療放射線技師	9人	3月19日～3月23日 4人 3月21日～3月25日 3人 3月23日～3月27日 3人 3月25日～3月29日 3人 3月27日～3月31日 3人 3月29日～4月2日 3人 3月31日～4月4日 3人 4月2日～4月6日 3人	福島県内	避難所での健康対策・衛生対策放射 線被ばく量測定及び相談等	健康医療部保健医療地域保健感 染症課保健所G(2523)	職種：放射線技師、 事務等 (大阪府職員含む)
	医療救護活動 (府立病院機構)	6人	3月23日～3月24日 2人 3月24日～3月28日 7人 3月27日～3月31日 7人 4月2日～4月6日 6人	岩手県内	避難所での被災者に対する医療救護 活動	健康医療部 保健医療室 医療対 策課 病院事業G(2501・2502)	職種： (府立病院機構) 医師、看護師 (府職員)ケア-カ、事 務等
	こころのケア	5人	3月23日～3月28日 5人 3月27日～3月31日 5人 3月30日～4月3日 5人 4月2日～4月6日 5人	岩手県内	被災者に対するこころのケア	健康医療部保健医療地域保健感 染症課精神保健G(2526・2587)	職種： (府立病院機構) 医師、看護師 (ケア-カ、事務等
	C T 検査	0人	3月30日～4月2日 5人	岩手県陸 前高田市	被災地でのCT検査	健康医療部保健医療地域保健感 染症課がん対策グループ(2528)	職種： 大阪がん予防検診セ ンター 放射線技師、運転手 (府立成人病セン ター) 医師、放射線技師 大阪がん予防検診セ ンター 放射線技師は5月 末日ごろまで派遣予定
健康医 療関係	要員、物資搬送	0人	3月13日～3月16日 8人(総務・健医)	岩手県内	D M A T 隊員送迎及び物資搬送	健康医療部 保健医療室 医療対 策課 救急・災害医療G(4531・ 2537)	職種：建築職 要請元：国土交通省
	応急仮設住宅建設	3人	3月17日～4月30日 3人(2週交代)	岩手県内	応急仮設住宅の建設応援	住宅まちづくり部 住宅まちづく り総務課 予算G(3016)	職種：建築職 要請元：国土交通省
	災害対策住宅への入居斡旋 業務	3人	3月23日～4月30日 3人(2週交代)	岩手県内	災害対策住宅(公営・民間)への入 居斡旋に関する業務応援	住宅まちづくり部 住宅まちづく り総務課 予算G(3016)	要請元：国土交通省
	給水支援	0人	3月12日～3月16日 11人 3月14日～3月18日 11人 3月17日～3月22日 11人	宮城県栗 原市、岩 手県内	市内各所で給水活動実施 応援車両：給水車3台、備蓄水ト ラック1台など	水道部事業管理室調整企画調整 G(3231)	宮城県栗原市：3月12日 ～16日 岩手県内：3月17日～ 職：土木職等 要請元：国土交通省、宮 城県 別送、池田市・豊中市職 員も派遣
上下水 道関係	2人	3月25日～4月1日 2人 3月27日～4月3日 2人 3月30日～4月6日 2人	宮城県 戸栗市 栗原市 周辺	下水管路的調査	都市整備部 下水道事業課建設 G(3955)		
計	59人	1,220人日					

2 大阪府の被災地支援（人的支援：関係機関職員）

支援項目	現在の派遣人数	派遣期間	派遣先	支援内容	問い合わせ先	備考
医療援助	DMAT（災害派遣医療チーム）	0人	茨城県・岩手県・宮城県	医師、看護師等による病院支援、SCU活動（SCU＝広域搬送拠点臨時医療施設）	健康医療部 保健医療室 医療対策課 救急・災害医療G(4631・2533)	職種：医師、看護師等 要請元：厚生労働省
	仮診療所	5人	宮城県	宮城県庁前でdERU（仮設診療所）の設置、診療	日本赤十字社大阪府支部事業課(06-6943-0743)	職種：医師、看護師等
	医療救護班	15人	岩手県	陸中海岸青少年の家（山田町）での診療と巡回診療	同上	職種：医師、看護師等
	ドクターヘリ	0人	福島県・山形県等	重篤患者の施設間搬送	健康医療部 保健医療室 医療対策課 救急・災害医療G(4631・2533)	職種：医師、看護師等 要請元：厚生労働省
	医療従事者ボランティア	0人	登録受付人数(47人)	被災地へ医療従事者をボランティアとして派遣	健康医療部 保健医療室 医事看護課 医事G(2520・2535)	職種：医師、看護師等 要請元：厚生労働省
	計	20人				

支援項目	現在の派遣人数	派遣先
広域緊急援助隊	約110人	岩手県・宮城県
被災地支援部隊	約30人	福島県
緊急消防援助隊	5人	岩手県釜石市

3 大阪府の被災地支援（人的支援：市町村職員）（府要請分）

支援項目	現在の派遣人数	延べ派遣人数	派遣期間	派遣先	支援内容	問い合わせ先	備考
岩手県内の市町村支援	0人	60人日	3月26日～3月31日 10人	岩手県大槌町	総務班、食料物資班、避難所対応心班、救護班、埋火葬受付班、遺体収容班の6班に分かれて、町業務に従事	災害等支援対策本部被災地支援班(4113・4114)	豊中市、吹田市、茨木市、箕面市、岸和田市、守口市
	0人	60人日	3月29日～4月3日 10人	同上	同上	同上	高槻市、富田林市、河内長野市、太子町、河内町、千早赤阪村
	10人	40人日	4月1日～4月6日 10人	同上	同上	同上	堺市、枚方市、松原市、高石市、能勢町
	0人	60人日	3月26日～3月31日 10人	岩手県陸前高田市	総務班、食料物資班、避難所対応心班、救護班、埋火葬受付班、遺体収容班の6班に分かれて、町業務に従事	災害等支援対策本部被災地支援班(4113・4114)	四條畷市、交野市、八尾市、相原市、東大阪市、阪南市、島本町
陸前高田市派遣チーム	0人	60人日	3月29日～4月3日 10人	同上	同上	同上	摂津市、寝屋川市、門真市、貝塚市、泉佐野市
	10人	40人日	4月1日～4月6日 10人	同上	同上	同上	羽曳野市、大阪狭山市
	4人	32人日	3月27日～4月3日 2人 4月1日～4月8日 4人	宮城県栗原市周辺	下水道の調査	都市整備部 下水道事業課建設G(3955)	池田市、豊中市
宮城県内の市町村支援							
計	24人	352人日					

4 大阪府の被災地支援（物的支援：府）

支 援 内 容	支 援 先	問 い 合 わ せ 先	備 考	
3月13日：アルファ化米 30,000食 3月14日：チキンラーメン 20,000食 3月15日：チキンラーメン 15,000食 3月19日：チキンラーメン 2,166食 3月23日：アルファ化米 45,400食 アルファ化米（お粥） 1,700食 乾パン・クラッカー 9,336箱 チキンラーメン 1,318個 シチュー 5,000個 粉ミルク（850g） 33箱 粉ミルク（量不明） 201箱 粉ミルク（13g×10袋） 324箱 3月24日：アルファ化米 3,800食 アルファ化米・クラッカー 11,400食 3月25日：アルファ化米 5,300食 アルファ化米（お粥） 750食 高齢者食（お粥） 50食 パン 8,000食 粉ミルク（320g） 30箱	岩手県 山形県	災害等支援対策本部被災地 支援班(4113-4114)		
3月13日：災害用備蓄水500ml*888本 災害用備蓄水500ml*10,000本 3月14日：災害用備蓄水500ml*24,000本 3月15日：災害用備蓄水500ml*24,000本 災害用備蓄水500ml*10,000本 3月17日：非常用飲料給水袋 1,000袋 3月19日：災害用備蓄水500ml*20,000本 3月20日：災害用備蓄水500ml*54,000本 3月21日：災害用備蓄水500ml*24,000本 3月22日：災害用備蓄水500ml*16,000本 3月23日：災害用備蓄水500ml*13,000本 3月12日：災害用備蓄水500ml*4,000本 非常用飲料給水袋4,000枚 3月14日：災害用備蓄水500ml*3,000本 非常用飲料給水袋7,000枚	岩手県 宮城県 栗原市			
3月15日：大人男性用下着 L*10箱,LL*2箱 3月23日：肌着 5,529枚 作業服 560着 3月25日：肌着 100着	岩手県 山形県			
3月14日：毛布 3,000枚 3月15日：毛布 1,320枚 3月19日：毛布 699枚 3月15日：毛布 10,000枚	岩手県 宮城県			
3月23日 抗インフルエンザウイルス薬（タミフル・リレンザ）	全域			
3月26日 避難所用日常医薬品 200個	岩手県			別途1,000個確保済み 順次発送予定

<p>その他の物品</p>	<p>3月14日：紙おむつ 10,000枚 生理用品 20,000枚 3月17日：納体袋 2,300枚 3月18日：マスク 50万枚 3月19日：マスク 22万枚 紙おむつ 11,455枚 生理用品 9,900枚 カイロ 12,000個 消毒液 250本 3月22日：ボンブ 1,080個 ポリタンク 1,000個 3月23日：日用品セット 1,500セット 3月24日：ゴミ袋 12,500枚 3月25日：雨衣 100着 3月28日：日用品セット 1,500個 ゴミ袋 12,000枚 雨カッパ 100着 レインウェア 4,241着 ウェットティッシュ 10,000パック 4月 1日：マスク (N95)200枚</p>	<p>岩手県</p> <p>災害等支援対策本部被災地 支援班(4113・4114)</p>	<p>別途800枚確保済み 順次発送予定</p>
<p>3月23日：タオル 7,541枚 哺乳瓶 60本 紙おむつ(子供) 23,599枚 紙おむつ(大人) 4,958枚 紙おむつ(不明) 3,000枚 生理用品 59,283枚 簡易トイレ 53基 ティッシュ 692箱 防護服 500着 マスク 630,369枚 アルシート 2,100枚 断熱シート 4,327枚 ゴミ袋 2,100枚 消毒液 717本 軍手 918組 排泄物収納袋 5,000袋 懐中電灯 525個 日用品セット 74セット 固形燃料 1,000個 トイレパル - パ - 13,665個 凝固式トイレ 20,100個 薬剤トイレ 2,000個</p>	<p>山形県</p>		

	<p>3月24日： タオル 17,240枚 哺乳瓶 114本 紙おむつ（子供） 1,656枚 紙おむつ（不明） 300枚 生理用品 28,952枚 防護服 500着 マスク 388500枚 コミ袋 2,400枚 消毒液 1,163本 軍手 2,000組 ろくそく 2,658本 懐中電灯 288個 日用品セット 3,196セット メカホン 60本</p>	山形県		
その他の物品	<p>3月25日： タオル 3,000枚 哺乳瓶 30本 紙おむつ（大人） 1,764枚 生理用品 65,554枚 簡易トイレ 25基 マスク 55,000枚 ビニールシート 400枚 コミ袋 256,000枚 消毒液 1,000本 ストート 100機 布団 25張 固形式トイレ 260基 寝袋 900袋</p>	山形県	災害等支援対策本部被災地支援班(4113・4114)	

5 大阪府の受入れ支援

支 援 内 容		対 象 者	箇 所 数	現在の受 入者数	延べ受入 者数	問 い 合 わ せ 先	備 考
一時避難所の設置	大阪府内に避難してこられた被災者の方々に公営住宅等に入居するまでの間など、一時的に避難生活を送っていただく	一時的な入居を希望する被災者等	1か所(府庁新別館南館10階)	1人	24人	災害等支援対策本部被災者受入班(4125・4126)	
一時避難市町村の一時避難所の設置	被災された人工透析患者の方々を受け入れ、医療機関と連携や医療サポートなど生活支援を行う	被災された現地で必要な医療を受けることが困難な人工透析患者及びその家族	1か所(大阪市・インテックス大阪)	0人	0人	大阪市震災支援対策対策室(06-6208-9807)	

支 援 内 容		対 象 者	受 入 数		入 居 決 定 戸 数	入 居 戸 数	問 い 合 わ せ 先	備 考
住 宅	府営住宅での受入れ 府営住宅の入居に関する相談 「府民お問合せセンター」(#8001または 06-6910-8001)	被災者の方(福島原子力発電所の事故に伴い避難指示を講じられた方を含む)	当面	最大	55戸	38戸	住宅まちづくり部 住宅経営室 経営管理課 支援チーム(6307)	
	府住宅供給公社賃貸住宅での受入れ	同上	当面	最大	1戸	1戸	住宅まちづくり部 住宅経営室 経営管理課 支援チーム(6307)	
	UR住宅での受入れ	被災者の方や原子力発電所の事故により避難している方(避難指示又は、屋内退避指示を受けた方)	当面	最大	14戸	14戸	住宅まちづくり部 居住企画課 企画推進G(4363)	
	雇用促進住宅での受入れ	被災者の方や原子力発電所の事故により避難している方(避難指示等に関わらず自主避難している方も含む)	当面	最大	11戸	0戸	住宅まちづくり部 居住企画課 管理調整G(3030)	
	市町営住宅での受入れ(大阪市、堺市を除く)	所管する市町村へお問い合わせください	当面	最大	29戸	22戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営指導G(3036)	決定戸数には内定含む
	大阪市営住宅での受入れ	同上	当面	最大	86戸	56戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営指導G(3036)	決定戸数には内定含む
	堺市営住宅での受入れ	同上	当面	最大	22戸	22戸	住宅まちづくり部 居住企画課 公営指導G(3036)	
	社会福祉施設への受入れ	被災により府内の社会福祉施設への入所が必要となる方	被災各県等からの依頼に応じて、個別に対応・調整		0人	0人	福祉部福祉総務課総務・企画G(2413)	
	計			公営・公社住宅等計	218戸	153戸		
				社会福祉施設計	0人	0人		

生活	被災者生活相談窓口の設置	支援内容	対象者	問い合わせ先	備考
	被災者生活相談窓口の設置	<p>様々な生活上の相談に応じる 開設時間：平日 午前9時から午後6時まで 開設場所：吹洲庁舎20階 被災者生活相談窓口（電話：06-6210-9290）</p>	被災者の方等	災害等支援対策本部被災者受入班(4125・4126)	
生活	見舞金・貸付金の支給	<p>【大阪府受入避難者支援見舞金】 1．給付金額 1世帯当たり10万円（1回限り）。ただし、単身者については5万円。 2．受付期間（予定） 平成23年3月29日（火曜日）から6月30日（木曜日）</p> <p>【生活福祉資金（緊急小口資金）貸付に関する特別措置】 1．貸付金限度額 1世帯当たり原則10万円以内 2．貸付の方法 (1)据置措置 貸付の日から1年以内 (2)償還期限 (1)の据置期間経過後2年以内 3．受付期間（予定） 平成23年3月29日（火曜日）から当分の間</p>	災害救助法の適用となった地域の方	福祉部地域福祉推進室地域福祉課企画調整G(4505)	
医療・介護	医療機関への受入れ	医療機関の紹介等個別に対応	被災等により府内の医療機関への入院・通院が必要となる方	健康医療部健康医療総務課総務・企画G(2513)	
住宅情報等	民間住宅（無償）の情報登録の受付 民間住宅（有償）の情報提供	<p>・介護保険サービス ・障がい福祉サービス</p> <p>物件情報を受付中 事業者団体と府民からの民間賃貸住宅の情報提供。加えて、大手前（一時避難所）に検索用PC3台と提供住みリストを設置。</p>	サービスの対象となる被災者の方等で、府内に転居又は一時避難された方	<p>・福祉部高齢介護室介護支援課(4473) ・福祉部障がい福祉室障がい福祉企画課(4145)</p>	
ホームステイ	受入れボランティアの募集	避難生活されている児童が府内で安定した生活を送れるようホームステイを受け入れていただける大阪府内のご家庭を募集 お問い合わせ先：「府民お問合せセンター」(#8001または 06-6910-8001)	被災者の方等 一定期間以上児童を受け入れ、受入費用をご負担いただけるご家庭	住宅まちづくり部 居住企画課 民間住宅助成G(3033) 住宅まちづくり部建築振興課 宅建業指導G(3084)	福祉部子ども子育て支援課 企画G(2448)

支 援 内 容		対 象 者	問 い 合 わ せ 先	備 考
税	府税の申告・納付等	被災者の方等	総務部税務室税政課改革推進G(2175・2176)	
中小企業 相談	特別相談窓口の開設	被災された中小企業等	商工労働部商工労働総務課企画G(2617・2618)	
金融	お金の悩み相談室の開設(再チャレンジ支援プラザ)	被災され大阪府に避難されてきた方々	商工労働部貸金業対策課貸金業対策G(内4671・4672)	
教育	公立高等学校後期入学者選抜	被災により学力検査等を受検できなかった受検者	教育委員会高等学校課学事G(3420・3421)	
	高等学校への受入れ	被災により大阪府内に転居することとなったため、在籍校に通えない状況となった生徒	教育委員会高等学校課学事G(3420・3421) 府民文化部私学・大学課小中高振興G(4856・4857)	
	公立高等学校入学検定料及び入学料を免除	被災地の高等学校等から大阪府立高等学校に新・転入学をする生徒	教育委員会財務課歳入G(3922・3926)	
就職	小中学校への受入れ	被災により大阪府内に転居することになった児童・生徒	教育委員会小中学校課学事G(3423)	
	就職支援窓口の設置 緊急雇用創出基金 事業の活用	被災者の方等 同上	商工労働部雇用推進室労政課企画G(2814) 商工労働部雇用推進室労政課特別基金G(2822)	

6 府民の皆様へのお知らせ

項目	内容	調査(検査)状況	現在の状況	問い合わせ先	備考
環境放射能測定	放射線モニタリング結果は大阪府立公衆衛生研究所のホームページから国への報告状況をご覧ください。 http://www.iph.pref.osaka.jp/sei-kam/hsen.html	文部科学省の委託により、常時、大気中の空間放射線量の測定を実施しています。	福島県における原子力発電所事故後、宅内における空間放射線量は通常の値で推移しており、異常な値は計測されていません。 ・平成23年4月3日午後9時時点 0.042 μSv/h (マイクログローベルト毎時) ・平成23年4月4日午前9時時点 0.042 μSv/h (平成21年度測定値 : 0.04 (最低値) ~ 0.063 (最高値))、0.043 (平均値) μSv/h) 本データは、1 μGy/h (マイクログレイ毎時) = 1 μSv/h (マイクロシーベルト毎時) と換算して算出。 (詳しくは、大阪府立公衆衛生研究所HP参照)	公衆衛生研究所 生活環境課 (代表) 06-6972-1321	
放射線モニタリング			上水(蛇口水)について、毎日、水道蛇口から採取し、分析調査を行っています。		
定時降下物のモニタリング		定時降下物(雨水、粉じん等)について、毎日24時間、降水採取装置により採取し、分析調査を行っています。	現在のところ、定時降下物(雨、粉じん等)から、放射性物質(ヨウ素、セシウム)は検出されていません。		
食品	福島県等で生産された野菜や原乳から、規制値を上回る放射性物質が検出されたことをうけ、国は次の食品について出荷制限を実施しています。 出荷制限 (4月4日9時現在) ・福島県; 原乳、非結球性葉菜類、結球性葉菜類・アブラナ科の花蕾類・カブ(*) *例: ホウレンソウ、かき菜、キャベツ、小松菜、茎立菜(くきたちな)、 信夫冬菜(しのぶひゆな)、山東菜(さんとうな)、ちじれ菜、アブラナ、紅葉苔(こうさいたい)、ブロッコリー、カブ、カリフラワー など ・茨城県; ホウレンソウ、かき菜、原乳、パセリ ・栃木県; ホウレンソウ、かき菜 ・群馬県; ホウレンソウ、かき菜	本府においては、出荷制限された農産物が府内で販売されないよう、3月24日より保健所等の食品衛生監視員による監視を強化しています。 詳細はホームページでも公表しています。 http://www.pref.osaka.jp/shokuhin/shinntyaku/hosyasen.html	3月24日~4月1日までに中央卸売市場をはじめ、スーパーマーケット、小売店の青果販売店など3,127件の立入調査を実施。 国による出荷制限の指示以降に出荷された農産物は確認されませんでした。	健康医療部食の安全推進課安全推進G (2563、2567)	

【関西広域連合（和歌山県）】

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震に対する支援状況等について（第 22 報）

和歌山県の支援状況

【新着情報】

人的支援

・医療救護班の派遣

第 6 班 4 月 3 日（日）～ 4 月 7 日（木）

県立医大 4 名（医師 1 名、看護師 1 名、薬剤師 1 名、事務職員 1 名）

4 月 4 日岩手県山田町の豊間根中学校で活動開始

・日赤和歌山支部医療救護班の派遣

第 7 班 4 月 4 日（月）～ 4 月 9 日（土）

10 名派遣（医師 1 名、看護師 4 名、薬剤師 1 名、事務職員 2 名、その他 2 名）

被災地支援（市町村の支援状況）

橋本市、上富田町 別添 5 被災地支援（市町村の支援状況）のとおり

被害地支援・災害ボランティアバス運行

被災地にてボランティア活動を行っていただける方を別添資料のとおり募集中。

応募状況 4 月 4 日現在 74 名

その他支援

・災害義援金 4 月 4 日現在 167,996,021 円

・給水支援

4 月 6 日 有田川町が大船渡市へ人員 2 名派遣予定

（給水車は和歌山市、海南市所有車を使用）

【現在の状況】

- 1 被災地支援（人的支援）
- 2 被災地支援（物的支援）
- 3 被災地支援（住宅の提供）
- 4 被災地支援（放射能の影響に関する健康相談窓口等）
- 5 被災地支援（市町村の支援状況）
- 6 被災地支援（被害地支援・災害ボランティアバス運行）
- 7 被災地支援（その他の支援）

1 和歌山県の被災地支援(人的支援:県職員)

支援項目		現在の派遣人員	派遣期間	派遣先	支援内容	備考・問い合わせ先
総合	関西広域連合岩手県現地事務所(大阪府・和歌山県現地支援本部)	2人	3月14日～	岩手県	現地情報の収集	県危機管理局 073-441-2262
	岩手県支援物資集積場要員	4人	3月27日～	岩手県産業文化センター「アビオ」	物資の受入・出荷・車両誘導等	
健康医療関係	保健師等派遣	3人	3月16日～3月21日 4人 3月19日～3月25日 4人(和歌山市職員) 3月24日～3月29日 4人 3月28日～4月2日 4人(和歌山市職員) 4月1日～4月6日 3人	岩手県立山田高等学校	健康相談、健康チェック、避難所の衛生対策	
	こころのケアチーム派遣	4人	3月28日～4月16日 6チームによる交代制	岩手県釜石保健所	被災者への心のケア	
救助活動	和歌山県防災ヘリコプター派遣	-	3月12日～18日 1機	被災地全域	人命救助・医師等搬送	
災害調査	下水道災害復旧支援	4人 和歌山県2人 和歌山市2人	4月1日～4月8日	宮城県多賀城市(予定)	下水道管路被害調査	県下水道課 073-441-3200

和歌山県の被災地支援(人的支援・関係機関職員)

支援項目		現在の派遣人員	派遣期間	派遣先	支援内容	備考・問い合わせ先
救助活動	緊急消防援助隊	0人	3月13日～3月20日 第1次106人 第2次101人	宮城県女川町 岩手県石巻市 他	人命救助	
医療援助	DMAT(災害派遣医療チーム)	0人	3月12日～15日 計3隊	岩手県花巻市内	医師、看護師等による 病院支援	県健康福祉部医務課 073-441-2604
健康医療関係	日赤和歌山支部医療救護班派遣	22人	3月11日～3月15日 10人 3月15日～3月19日 13人 3月19日～3月23日 11人 3月23日～3月27日 11人 3月27日～3月31日 11人 3月31日～4月5日 12人 4月4日～4月9日 10人	岩手県山田町	医療支援	
	南和歌山医療センター医療救護班派遣	0人	3月16日～3月20日 6人	宮城県仙台市	医療支援	
	医療救護班(県立医大他)	8人	3月19日～3月23日 7人(県立医科大学) 3月22日～3月26日 7人(県立医科大学) 3月25日～3月29日 7人(社会保険紀南病院) 3月28日～4月1日 4人(県立医科大学) 3月31日～4月4日 4人(県立医科大学) 4月3日～4月7日 4人(県立医科大学)	岩手県山田町 豊間根中学校	医療支援	
	和歌山県立医科大学医師派遣	1人	3月20日～3月26日 1人 3月25日～3月30日 1人 4月1日～4月7日 1名	福島県立医科大学	医療活動	

2 和歌山県の被災地支援(物的支援)

搬送日	品目	数量	搬出先	備考	
H23.3.14	毛布	1,500 枚	福島県いわき市	・消防庁の要請 ・県備蓄物資	
	毛布	5,000 枚	福島県田村市		
H23.3.16	米類	30,000 食	岩手県滝沢村	・県備蓄物資 27,000食 ・市町村備蓄物資 3,000食 ・市町村備蓄物資(500ml)	
	水	10,000 本			
	毛布	1,500 枚		・民間企業からの提供	
	防災マット	300 枚			
	防災クッション	100 枚			
	ボックスティッシュ	3,180 箱			・県保管物資
	乳児用おむつ	4,000 枚			・市町村備蓄物資
	マスク	20,000 枚			・県備蓄物資 300枚 ・市町村備蓄物資 200枚
ブルーシート	500 枚				
H23.3.18	飲料水	5,800 本	岩手県滝沢村	・県民、民間企業からの提供	
	カップ麺	3,500 個			
	ウェットティッシュ	2,300 個			
	使い捨てカイロ	25,000 個			
H23.3.21	飲料水	116,194 本	宮城県石巻市	・県民、民間企業からの提供	
	カップ麺	35,075 個	岩手県滝沢村		
	ウェットティッシュ	25,787 個			
	使い捨てカイロ	238,465 個			
	米類	21,480 食	宮城県石巻市	・市町村備蓄物資	
	乾パン	14,280 食	岩手県滝沢村	・民間企業からの提供	
	飲料水	5,272 本			
	調味梅干	5,000 ハック			
線香	39 箱				
H23.3.25	木炭	100 箱	岩手県滝沢村	・民間企業からの提供	
	靴下	1,000 足			
	肌着(大人用)	200 着			
	男性用下着	8,100 枚			
	子供服(女児用)	8,800 着			
	ヤッケ	5,500 着			
	洗濯ばさみ	960 セット			
	線香	2,700 束			
	生理用品	8 箱		・県民からの提供	
H23.3.31	醤油	1,200 本	岩手県滝沢村	・町からの提供	
	靴下	1,000 足		・民間企業からの提供	
	歯ブラシ	63,000 本			
	ご遺体用除菌消臭剤(パウダー)	800 個			
	ご遺体用除菌消臭剤(ゲル)	240 個			
	ご遺体用除菌消臭剤(スプレー)	8 本			
	紙コップ	1,825 個			
	靴	367 足			
	子ども用靴	354 足			
	子ども用長靴	52 足			
	トイレトーパー	640 ロール			
	除菌スプレー(本体)	20 個		・県民からの提供	
	除菌スプレー(詰め替え用)	10 袋			
	大人用おむつ	650 枚			
	子ども用おむつ	2,400 枚			
	ベビーフード	64 食			
	ベビーフード(飲料)	33 本			

問い合わせ先
福祉保健総務課
TEL 073-441-2472

3 和歌山県の被災地支援(住宅の提供について)

県営住宅、市営住宅等を提供(家賃、敷金、礼金は無償、共益費は有償)

支援内容		提供戸数	前日からの変動		現在の状況	
			入居戸数	受け入れ人数	入居戸数 (延べ入居戸数)	受け入れ人数 (延べ受け入れ人数)
県営住宅の提供		102			2 (2)	10 (10)
市営住宅等の 提供	和歌山市	50			3 (3)	12 (12)
	海南市	1				
	橋本市	3				
	御坊市	1				
	田辺市	12			1 (2)	3 (6)
	新宮市	15				
	紀美野町	2			1 (1)	3 (3)
	かつらぎ町	9				
	九度山町	5				
	高野町	4				
	湯浅町	2				
	日高川町	2				
	白浜町	2				
	上富田町	1				
	すさみ町	5				
	那智勝浦町	1				
串本町	2					
合計		219	0	0	7 (8)	28 (31)

申し込み、問い合わせ先

県土整備部都市住宅局建築住宅課 073 - 441 - 3210

平成23年4月末までは、土曜日・日曜日・祝日も受付対応

(午前9時～午後5時45分)

4 被災地支援(放射能の影響に関する健康相談窓口等)

放射線の影響に関する健康相談窓口等について

健康福祉部 難病・感染症対策課

和歌山県では県環境衛生研究センター(和歌山市)において、文部科学省の委託を受けて空気中の放射線量の測定を行っています。

県民の健康への影響について

- ・3月11日の震災発生以降、上記の測定値は平常値で推移しております。県民の皆様健康には影響はありませんので、冷静な対応をお願いします。

放射線の影響に関する健康相談窓口

・福島原子力発電所周辺の避難・屋内退避圏内から和歌山県に避難して来られた方等、原子力発電所事故による健康への影響が心配な場合は下記で電話相談を受け付けています。

避難・屋内退避圏外から来られた方は心配ありません。

相談窓口	電話番号	開設日時
和歌山市保健所	073 - 433 - 2261	月～金(祝日を除く) 8:30～17:15
岩出保健所	0736 - 61 - 0020	月～金(祝日を除く) 9:00～17:45
橋本保健所	0736 - 42 - 3210	
海南保健所	073 - 482 - 0600	
湯浅保健所	0737 - 64 - 1291	
御坊保健所	0738 - 22 - 3481	
田辺保健所	0739 - 26 - 7931	
新宮保健所	0735 - 21 - 9630	
新宮保健所串本支所	0735 - 72 - 0525	
県庁難病・感染症対策課 (人の健康に関すること)	073 - 441 - 2643	
県庁食品・生活衛生課 (食品の安全に関すること)	073 - 441 - 2624	

5 被災地支援(市町村の支援状況)

和歌山県内各市町村の東日本大震災に関する支援状況 平成23年4月4日 15時現在 NO.1

和歌山県東北地方太平洋沖地震被災地支援対策本部 県総務部危機管理局

下線部が変更事項

市町村名	支援本部 設置状況	設置日	主な支援状況等
1 和歌山市		H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 緊急消防援助隊 5隊20名 3/12 (3/20帰還) 給水支援 2t車1台 3/14出発 義援金の受付 3/14開始 救援物資提供 3/16 岩手県へ(食料、水他) 保健師等の派遣 3/19岩手県へ 医師、診療放射線技師等の派遣 3/19福島県へ
2 海南市		H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/15開始 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) 給水支援 3t車 1台 救援物資提供 3/16岩手県へ(ブルーシート、マスク他) 3/18 アルファ米1,000食 看護師派遣 1名(岩手県) 3/30～4/2
3 橋本市	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) 給水支援 4t車 1台(3/24帰還) 物資提供 3/18 水1.5L×720本 看護師4名派遣 (4/4～4/8まで2名が宮城県、4/6～4/10まで2名が岩手県へ) 自治体としての義援金を、岩手県市長会へ100万円、宮城県市長会へ50万円、福島県市長会へ50万円、4/4に送金。
4 有田市	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/15開始 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) 物資提供 3/18 アルファ米 1,600食
5 御坊市	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 緊急消防援助隊 10名 (3/20帰還) 物資提供3/18 アルファ米 1,000食 カンパン 720缶
6 田辺市		H23.3.18	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/15開始 緊急消防援助隊 28名(第1～2陣)(3/20帰還) 救援物資支援 茨城県笠間市 ブルーシート 3/12 岩手県一関市 毛布、飲料水他 3/13・3/14 県の救援物資集積への協力 クラッカー9,000食 3/18 茨城県笠間市 飲料水約10トン 3/25 茨城県高萩市 飲料水2.5トン、梅干し等 3/30
7 新宮市	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) 給水支援 3台 宮城県名取市2台 茨城県高萩市1台 物資提供 水、非常食、毛布
8 紀の川市	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 給水支援 2t車1台他 岩手県盛岡市へ3/18出発 3/18 救援物資支援 宮城県登米市へ おむつ、粉ミルク、懐中電灯他 3/22 福島県相馬市 救援物資(食料)支援
9 岩出市	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/15開始 備蓄品の供出 3/18 アルファ米 2,500食、 カンパン 3,000缶、保存水 1,008本(500ml)
10 紀美野町		H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 給水支援 3t車1台 3/15午後出発 緊急消防援助隊 4名 3/12 (3/20帰還) 備蓄品の供出 3/19 アルファ米 500食他
11 かつらぎ町	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 県の救援物資集積への協力 町役場にて収集 カップ麺60箱、飲料水135箱、カイロ30箱 ウエットティッシュ14箱
12 九度山町		H23.3.17	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 備蓄品の供出 アルファ米 800食 保存水 2L 60本 救援物資 3/21発送 飲料水 2L 12,480本
13 高野町	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還)
14 湯浅町		H23.3.14	<ul style="list-style-type: none"> 義援金の受付 3/14開始 緊急消防援助隊 3名 救急車1台 (3/20帰還) 備蓄品の供出 アルファ米600食 救援物資 水2L 1200本

和歌山県内各市町村の東日本大震災に関する支援状況

NO.2

	市町村名	支援本部設置状況	設置日	主な支援状況等
15	広川町		H23.3.14	・義援金の受付 3/15開始 ・町民へ救援物資受付の周知(放送) ・3/18 町民からの救援物資受付 カイロ等 約2万個
16	有田川町		H23.3.14	・義援金の受付 3/14開始 ・緊急消防援助隊 10名 (3/20帰還) ・救援物資 アルファ米 3,000食 水2L 1,134本
17	美浜町	-	-	・義援金の受付 3/14開始 継続受付中 ・救援物資 3/17~18 第一次受付終了 ・3/18 アルファ米 1,000食 備蓄用パン 480食
18	日高町	-	-	・義援金の受付 3/15開始 ・衛星携帯電話の貸与 (日高広域消防、緊急消防援助隊) ・備蓄品の供出 カンパン 1,000個
19	由良町	検討中	-	・義援金の受付 3/14開始
20	印南町		H23.3.14	・義援金の受付 3/15開始
21	みなべ町	-	-	・義援金の受付 12箇所募金箱設置 ・救援物資 3/17 茨城県水戸市へ 全国梅サミット 災害応援協定による (紙おむつ、飲料水、梅干し他) ・3/17義援金の町専用口座開設 チラシ各戸配布(3/18) ・県の救援物資集積への協力 町役場駐車場にて収集 カップ麺、飲料水、カイロ等 約16,000個
22	日高川町	-	-	・義援金の受付 3/14開始
23	白浜町		H23.3.18	・義援金の受付 3/14開始 ・緊急消防援助隊 5名 (3/20帰還) ・町から物資支援 アルファ米200食、飲料水 720本等 ・白浜観光協会等の物資支援 飲料水100ケース
24	上富田町		H23.3.14	・義援金の受付 3/14開始 ・救援物資3/18出発 岩手県宮古市へ(役場及び町民協力) ・救援物資(野菜、調味料等)4/3出発 岩手県宮古市へ 職員2名
25	すさみ町		H23.3.15	・義援金の受付 3/15開始 ・緊急消防援助隊 (白浜消防装備抛出)
26	那智勝浦町	-	-	・義援金の受付 3/14開始
27	太地町		H23.3.15	・義援金の受付 ・備蓄品の供出 (3,000食分)
28	古座川町	-	-	・義援金の受付 3/15開始 ・古座川町からの義援金 ・救援物資 白米2.7t 岩手県宮古市 ・備蓄品の供出(アルファ米 500食)
29	北山村	-	-	・義援金の受付 準備中
30	串本町		H23.3.16	・義援金の受付 3/15開始 ・緊急消防援助隊 3名 (3/20帰還) ・救援物資 白米 17.5t (岩手県宮古市) ・備蓄品の供出 (岩手県宮古市) おむつ、粉ミルク他 ・救援物資 3/18 アルファ米 500食(岩手県へ)

6 和歌山県の被災地支援（被害地支援・災害ボランティアバス運行）

第1回東日本大震災による被災地支援・災害ボランティアバス運行について

和歌山県・和歌山県災害ボランティアセンターでは、東日本大震災で被害を受けた地域に、ボランティアバスを運行します。

つきましては、被災地にてボランティア活動を行っていただける方を下記のとおり募集しますので、お知らせします。

記

- 1．募集日程 平成23年4月1日（金）～5日（火） 9:00～17:00
- 2．申込方法 電話による申込み
- 3．参加申込先 和歌山県社会福祉協議会・県災害ボランティアセンター
TEL 073-435-5220
- 4．募集人数 20人
- 5．運行内容
日 程：平成23年4月8日（金）～平成23年4月11日（月）
活動場所：岩手県大槌町内
宿泊先：湯の杜 ホテル志戸平（岩手県花巻市湯口字志戸平）
参加費用：現地費用（宿泊費・食料費等）
ボランティア保険加入掛金

詳細については、別添資料のとおり

<p><問い合わせ先> 東北地方太平洋沖地震被災地支援対策本部 （県民生活課 NPO・県民活動推進室）田代 TEL：073-441-2053（直通）</p>
--

第1回 東日本大震災による被災地支援災害ボランティアバス運行実施要項

和歌山県・和歌山県災害ボランティアセンターでは、東日本大震災で大きな被害を受けた地域に、下記のとおりボランティアバスを運行します。

なお、被災地における受入可能な人数等の事情により、ご参加いただけないことがありますので、どうぞご承知おきください。

実施日程 平成23年4月8日(金)～4月11日(月)

出発時間：15：30

出発場所：県民交流プラザ和歌山ビッグ愛

当日連絡先：090-1026-6223（県社協・手崎）

バスは、15：00 JR和歌山駅東口（旧あぜくら前）を經由します。

時間厳守で出発しますので、遅刻の場合は乗車できません。

行程（添乗は県・田代、県社協・手崎がいたします。）

和歌山発	1日目	15：30 出発	（バス車中泊）
現地到着	2日目	9：00 到着	終日活動（花巻市内宿泊施設）
	3日目	10：00 より	終日活動
現地出発		16：00 帰発	（バス車中泊）
和歌山到着	4日目	10：00 到着（予定）	

活動場所 岩手県大槌町内（大槌町災害ボランティアセンター）

定員 20名

申込については先着順とします。

なお、今後2回目、3回目と土日含む3泊4日程度運行予定ですので、定員を超えて申し込みのあった方については登録させていただき、次回募集の際に連絡させていただきます。

参加費用 現地宿泊費用（個人負担、直前キャンセルの場合は料金を負担いただきます。）

湯の杜 ホテル志戸平（電気・水道・風呂あり、暖房なし）

〒025-0244 岩手県花巻市湯口字志戸平 Tel：0198-25-2011

お一人 6,450円、素泊まり、5・6人の相部屋了解ください。

ボランティア保険加入掛金（天災プラン490円～）

主催 和歌山県

和歌山県社会福祉協議会・県災害ボランティアセンター

参加申込連絡先

和歌山県社会福祉協議会・県災害ボランティアセンター

TEL: 073-435-5220

緊急募集ですので、今回は電話のみの受付とさせていただきます。

氏名、性別、年齢、住所、緊急電話番号、ボランティア活動保険の加入の有無をお聞かせ下さい。ボランティア保険に未加入の場合は事前オリエンテーションにてご加入いただきますので、ご準備ください。(お釣りの無いようご用意ください。)

今回は、第1回目運行まで募集期間が短く、交通の便も考慮し、県内の方に限らせていただきます。

申込期間 4月1日(金) ~ 4月5日(火) 9:00 ~ 17:00

活動内容 想定される活動内容の例(現地の指示に従うため、希望する活動の指定はできません)

- 自宅の泥かき、畳上げ、家具の搬出等
- 自宅の清掃一般、側溝等生活用水路の泥かき等

服装・持ち物

服装や必携品の基本的なものをご紹介しますので参考にされて下さい。

a) 汚れてもいい、暖かい服装

ダウン、ケガ防止のための長袖・長ズボン

長靴(安全靴がベスト)、長靴を長時間履いているとくつ擦れを起しやすいので、厚手の靴下とセットで用意。

b) 帽子またはヘルメット、ゴーグル(コンタクトの人は必須)

マスク(できれば防塵マスク)、ゴム手袋・軍手(すべり止めがついた厚手のもの)

c) タオル、洗面用具、身の回りの生活用品

毛布(車中泊に必要)、着替え、雨合羽

d) 食べ物(3泊4日分、現地では調達しようとせず自己完結でお願いします。)

飲み物(充分用意ください、こまめな水分補給、塩分が入ったスポーツドリンクなどが最適です。)アメ、氷砂糖、梅干しなど

e) 薬(常備薬のほか、目薬、キズバン、うがい薬などを持っていきましょう。)

保険証(コピー)など

その他 注意事項等

- 事前オリエンテーション（4月6日夜予定）を行いますので、必ずご出席いただき、当日に臨んでください。
なお、オリエンテーションの詳細については、後日連絡いたします。
- 準備として、十分に現地関連情報の確認を行ってください。
岩手県社会福祉協議会
<http://www.iwate-shakyo.or.jp/>
全国社会福祉協議会・全国ボランティア市民活動
<http://blog.goo.ne.jp/vc00000/>
- 被災地や仲間同士の負担にならないよう自己完結型の支援活動とします。
- バスで片道約18時間かかり、現地では丸2日間活動を行うため、健康に自信のある方の参加をお願いします。
- 少しでも体調に異変を感じた場合は、出発当日でも参加を見合わせて下さい。

7 和歌山県の被災地支援(その他の支援について)

項目	内容	現在の状況	問い合わせ先
災害義援金口座の開設	和歌山県が「東北地方太平洋沖地震災害義援金」を募集。	4月4日現在 167,996,021円	福祉保健総務課 電話 073-441-2472
東北地方太平洋沖地震被災地への災害義援金について	和歌山県議会では、全議員44名の負担により東北地方太平洋沖地震の被災者支援のため、義援金100万円を送ることを決定。		
和歌山県からの見舞金について	岩手県、宮城県及び福島県に対し、和歌山県から、それぞれ300万円の見舞金。3月29日、和歌山県東京事務所長が各県東京事務所長に目録を届ける。		
和歌山県医師等災害ボランティア受付窓口開設	3月18日(金)、ボランティアを行う意志のある医師等医療従事者から申し込みを受け付ける窓口等を設置。	4月1日現在 10件登録 (医師1名、看護師7名、薬剤師1名、鍼灸師1名)	医務課 電話 073-441-2603 (土日祝日を除く午前9時～午後5時45分) FAX 073-424-0425 (終日)
児童生徒の受け入れ	東北地方太平洋沖地震に被災し、和歌山県内に転居される方で、公立学校への入学・転入学・編入学を希望される児童生徒について、和歌山県教育委員会の各担当窓口を設置。		教育委員会学校指導課 電話 073-441-3686 [小・中学校] 義務教育班 073-441-3705 [特別支援学校] 特別支援教室 073-441-3683 [高等学校] 高等教育班 073-441-3662
給水支援	和歌山市 給水車(2t)1台 + 支援車1台 人員4名	人員のみ帰還(派遣先:大船渡市)	
	海南市 給水車(3t)1台 + 支援車1台 人員4名	人員のみ帰還(派遣先:大船渡市)	
	新宮市 トラック + 2tタンク積載を1台 人員2名	宮城県名取市で給水活動中	
	橋本市 給水車(4t)1台 人員2名	帰還(派遣先:大船渡市)	
	田辺市	茨城県高萩市へ出発し、17日に新宮市と引き継ぎを予定していたが延期	
	新宮市 給水車(4t)1台 + 支援車1台 人員5名	茨城県高萩市へ出発したが、活動を中止し帰還	
	岩出市 給水車(3t)1台 + 支援車1台 人員4名	岩手県盛岡市へ出発予定であったが、受け入れ体制が整うまで待機	
	紀の川市 トラック + 2tタンク積載を1台 給水袋2,000袋 人員4名	帰還(派遣先:宮城県登米市)	
	紀美野町 給水車(3t)1台 + 支援車1台 人員4名	帰還(派遣先:大船渡市)	
	白浜町 人員2名	帰還(派遣先:大船渡市)	
	美浜町 人員2名	和歌山市・海南市の給水車を使用し、大船渡市で給水活動中	
	田辺市 人員2名	和歌山市・海南市の給水車を使用し、大船渡市で給水活動中	
有田川町 人員2名 (4月6日出発予定)	和歌山市・海南市の給水車を使用。今後、県内市町村で順次交代しながら給水活動していく予定		

【関西広域連合（徳島県）】

東北地方太平洋沖地震にかかる教育分野「学校再開支援チーム」（第1陣）の派遣について

東北地方太平洋沖地震における被災者対策として、本県では、3月19日から、7班29人の教職員を、宮城県女川町等に派遣し、「心のケア」や「特別な支援を必要とする児童生徒のケア」等の支援活動を行ってきたところです。

こうした中、女川町では、宮城県内で津波被害を受けた地域としては最初に、4月8日に小中学校の始業式が行われることから、新たに、中堅・ベテランの教員を中心とした「学校再開支援チーム」を派遣し、支援を強化いたします。

現地支援要員

派遣期間 平成23年4月5日（火）から4月11日（月）

派遣要員

5名				
チームリーダー	教育総務課	政策調査幹	藤本 恭弘	
班員	鳴門第一中学校	教頭	遠藤 直人	
班員	小松島中学校	教諭	森 直樹	
班員	八万中学校	教諭	林 義勝	
班員	鳴門高校（総合教育センター研究員）	教諭	黒田 収	

派遣先 宮城県女川町の小中学校等

女川町の状況

- ・死者253人、行方不明者（届出分）631人（3月31日現在）
- ・児童生徒の9割が住居を喪失するなど大きな被害。
- ・女川町内の小中学校では、4月8日（金）に始業式を、4月8日又は11日に入学式を行う予定。

派遣にあたり、次のとおり壮行式を行います。

平成23年4月5日（火） 午前8時00分
県庁西側 正面玄関

東日本大震災にかかる関西広域連合（徳島県）被災地支援（医療・保健）チーム第8陣被災地支援（介護支援）チーム第1陣派遣壮行式について

3月11日に発生した「東日本大震災」で被災した避難住民等の医療救護活動、健康相談活動、心のケア等を行うため、関西広域連合の一員として、次のとおり医療・保健分野における被災地支援チーム（第8陣）を派遣します。

また、在宅で介護を必要とする世帯の介護・生活援助、相談支援活動を行うため、「介護支援チーム」を今回初めて派遣します。

出発にあたり、次のとおり壮行式を行います。

1 介護支援チーム先遣隊壮行式

(1) 日時 平成23年4月5日（火） 午前8時45分から

(2) 場所 県庁2階 保健福祉部長室

(3) 出席者 徳島県保健福祉部長
被災地支援（介護支援）チーム先遣隊 2名

2 支援チーム本隊壮行式

(1) 日時 平成23年4月6日（水） 午前10時15分から

(2) 場所 県庁6階 602会議室

(3) 出席者 武市 修一 徳島県政策監
被災地支援チーム 総勢25名
被災地支援（医療・保健）チーム 23名
現地連絡員 1名
保健師チーム 6名
医療救護チーム 10名
災害支援ナース 2名
心のケアチーム 4名
被災者支援（介護支援）チーム後発隊 2名

3 派遣場所

医療・保健チーム 宮城県仙台市、石巻市及びその周辺

介護支援チーム 南三陸町

被災地支援チーム（医療・保健チーム第8陣、介護支援チーム第1陣）

	所 属	氏 名	職 種	
現地連絡員	障害福祉課	尺長 賢	事務職	
保健師チーム	美馬保健所	藤本 吟子	保健師	
	徳島市	丸岡 重代	保健師	
	東部保健福祉局<徳島>	中川 大輔	事務職	
	徳島保健所	中瀬 明代	保健師	
	徳島保健所	前田 恵美	保健師	
	東部保健福祉局<徳島>	阿部 祐介	事務職	
医療救護チーム①	麻植協同病院	四宮 寛彦	医 師	
	医療政策課	木下 英孝	医 師	
	麻植協同病院	谷 美沙子	看護師	
	麻植協同病院	後藤 真	看護師	
	薬務課	亀井 潔	薬剤師	
	麻植協同病院	吉田 聡史	事務職	
医療救護チーム②	徳島大学病院	渡邊 浩良	医 師	
	徳島大学病院	河野 優衣	看護師	
	徳島大学病院	上村 卓広	薬剤師	
	徳島大学病院	田辺 満香	事務職	
災害支援ナース	上那賀病院	平川 和美	看護師	
	上那賀病院	仁尾 美紀代	看護師	
心のケアチーム	城西病院	井上 秀之	医 師	
	城西病院	三木田 純也	看護師	
	城西病院	森 真弓	精神保健福祉士	
	地域福祉課	高野 毅彦	事務職	
介護支援チーム	阿波市社会福祉協議会	福家 弘美	介護支援専門員	
	阿波市社会福祉協議会	栗本 桂子	介護福祉士	
	長寿介護課	住田 優二	事務職	先遣隊
	保健福祉政策課	三木 貴万	事務職	先遣隊

東日本大震災の被災地・被災者の支援に関する「徳島発の政策提言」

このたびの東日本大震災により、被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

本県では、被災された方々の一刻も早いご復興を祈念するとともに、関西広域連合の一員として、兵庫・鳥取両県とともに担当している「宮城県」を中心に、人的・物的支援を行っています。

関西広域連合では、震災復興に当たり直面する数多くの課題について、政府与党や関係省庁に対して緊急の提案をすることとなり、去る3月29日、各府県知事（知事選中の本県及び鳥取県は副知事）が集まり、76項目に及ぶ提案事項を決定しました。

この提案事項のうち、「市町村の災害復旧事業の代行制度の創設」など7項目については、本県から発案したことから、「関西広域連合の緊急提案」とともに「徳島発の政策提言」として、施策の早期実現を求めて、里見副知事が関係先を訪問いたします。

(1) 日 程

日 時	場 所	提 案 先 （敬称略）	備 考
4月5日（火）			
11:00～	衆議院本館第15控室	民主党陳情要請対応本部 副本部長 稲見 哲男	

※ 上記のほか、内閣府、国土交通省等の関係省庁への提言活動を行う予定。
（提言先及び時間は調整中）

(2) 提言内容

別紙のとおり（※提言項目）

徳島発の政策提言

(提言項目)

- 1 被災者等のための義援金に係る税制上の優遇措置の要件緩和について
(保健福祉部)
- 2 被災者向け住宅の提供に係る支援制度の拡充について
(県土整備部(企画総務部, 教育委員会))
- 3 緊急雇用創出事業の活用について(商工労働部)
- 4 被災地の児童生徒に対する教育面の対応について(教育委員会)
- 5 災害救助法の弾力的な運用について(危機管理部)
- 6 災害廃棄物処理のための広域支援体制の構築について(県民環境部)
- 7 市町村の災害復旧事業の被災地以外の自治体による代行制度の創設について
(県土整備部, 農林水産部)
- 8 原発事故に伴う国産農林水産物や製品の輸出制限への対応について
(商工労働部, 農林水産部)

東日本大震災の被災地からの公立学校への受入について

平成23年4月1日までに、被災地から徳島県内の公立学校へ受け入れた児童生徒等の人数は12名です。

受入状況については、次のとおりです。

1 校種別受入状況

幼稚園	1名
小学校	10名
中学校	1名
高等学校	0名

2 受入前の県

宮城県	3名
福島県	4名
茨城県	1名
神奈川県	4名

3 受入市町村

徳島市	2名
阿南市	1名
吉野川市	3名
石井町	3名
藍住町	1名
板野町	2名

東日本大震災「徳島県災害ボランティア先遣隊」の募集について

徳島県では、東日本大震災で大きな被災を受けた地域におけるボランティア活動を支援するため、今後のボランティア活動のリーダー的な役割を担っていただく方を対象に、次のとおり「徳島県災害ボランティア先遣隊」を派遣することとし、参加者の募集を行います。

1 派遣場所

宮城県気仙沼市大島（現地支援員を派遣している地域の中で、ボランティア活動が最も効果的だと考えられるため）

2 日程

8日（金）	13：00 出発式（県庁）	
	13：30 出発	<車中泊>
9日（土）	早朝 気仙沼市大島着	
	終日 ボランティア活動	<宿舎泊>
10日（日）	終日 ボランティア活動	<宿舎泊>
11日（月）	16：00 ボランティア活動終了	
	17：00 出発	<車中泊>
12日（火）	9：00 頃県庁着	

3 活動内容

現地のボランティア受入状況の視察調査（現地の状況を把握し、現地の世話役との人的なネットワークを構築する。）

ボランティア活動（救援物資の検品、仕分け、積み込み等）

4 参加費用

現地での宿泊費（2泊8千円：宿泊のみ）、ボランティア保険料

食料、飲料水は各自持参

5 募集人員

20名

希望者多数の場合は、災害ボランティアの経験者や研修会受講者等を優先させていただきますので、予めご了承ください。

6 受付期間

平成23年4月5日（火）・6日（水）両日 午前9時から午後5時まで

7 申し込み方法・問い合わせ先

住所、氏名、電話番号、災害ボランティア活動経験（具体的に）、研修会受講の有無を明記の上、下記までお申し込みください。

徳島県危機管理部南海地震防災課

電話 088-621-2800

ファクシミリ 088-621-2849

電子メール riho_takuya_1@pref.tokushima.lg.jp

東日本大震災に係る
関西広域連合・徳島県宮城現地支援本部員 壮行式

このことについて、以下のとおり開催いたしますので、お知らせいたします。

- 1 日 時：平成 23 年 4 月 5 日（火）16 時 00 分から
- 2 場 所：県庁 4 階 危機管理部長室
- 3 出席者：危機管理部長、派遣職員 2 名 ほか
- 4 派遣場所：宮城県庁

被災地への救援物資の受付（第2回目）について

平成23年3月31日（木）から4月2日（土）まで、県民の皆様にご協力をお願いし、救援物資を受け付けたところ、次のとおりご提供いただきました。

受付件数	580件
（内訳）	
・カップ麺	282箱
・ラップ類	912本
・粉ミルク	251缶(箱)
・おむつ（子供用）	421袋
・おむつ（大人用）	527袋
・おしりふき	841個
・生理用品	764袋

鳴門市、阿南市、美馬市、阿波市、佐那河内村、美波町での各受付分を含む。

ご協力ありがとうございました。

また、今後、県民の皆様から救援物資の提供をお願いする場合は、県ホームページ等により広報させていただきますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先

県南海地震防災課 電話：088-621-2297 FAX：088-621-2849

東日本大震災に関する徳島県の被災地支援の状況について

1. 本日の主な動き

(1) 人的支援

- ・宮城県北部沿岸市町支援本部派遣職員 第3陣(21名)
 - 1班(4名) 気仙沼市にて支援活動に従事。
 - 2班(8名) 南三陸町にて支援活動に従事。
 - 3班(3名) 石巻市にて支援活動に従事。
 - 4班(6名) 女川町にて支援活動に従事。
- ・広域緊急援助隊
 - 刑事部隊 第2陣(10名)
石巻市にて検視用務に従事。
 - 交通部隊 第2陣(7名)
福島県いわき市内において交通規制用務に従事。
 - 警備部隊 第2陣(44名)
気仙沼市において捜索・救助活動に従事
- ・日本赤十字社徳島県支部(医療救護班)第6班(8名)
石巻専修大学にて支援活動に従事。
- ・被災地支援(教育)チーム
 - 児童生徒の「心のケア」,「学校再開」等の支援。
第6陣(4名) 石巻市・女川町にて支援活動に従事。
 - 第7陣(5名) 女川町にて支援活動に従事。

・「被災地支援（医療・保健）チーム」

第7陣

保健師チーム（6名）

仙台市若林区内避難所等（大和小学校，若林小学校，遠見塚小学校，家庭訪問）にて支援活動に従事。

医療救護チーム（10名）

石巻市立万石浦中学校にて支援活動に従事。

災害支援ナース（2名）

石巻市遊楽館にて支援活動に従事。

心のケアチーム（4名）

仙台市若林区内避難所等（八軒中学校，南小泉中学校，若林小学校 他4カ所）にて支援活動に従事。

（2）物的支援

- ・被災地における幼児，児童生徒の新学期準備のための県内幼稚園・学校・PTAからの支援物資の収集

（3）被災地からの公立学校への受入状況

平成23年4月1日までに，被災地から徳島県内の公立学校へ受け入れた児童生徒等の人数は，幼稚園1名，小学校10名，中学校1名の合計12名。

（4）環境放射能の調査結果

- ・空気中の放射線量の測定
前日午後5時から本日午後5時までの放射線量の測定値は，0.036～0.038 $\mu\text{Sv/h}$ であり，異常なし。
- ・定時降水物（ちり，ほこり，雨など）の分析（ヨウ素131，セシウム137）
前日午前9時から本日午前9時までの降水物 検出されず。
- ・上水（蛇口水）の分析（ヨウ素131，セシウム137）
前日採取した上水 検出されず。

県ホームページ

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011031500153/>

2. 明日の主な動き

- (1) 東日本大震災の被災地・被災者の支援に関する「徳島発の政策提言」
- ・「関西広域連合の緊急提案」とともに、本県から発案した「市町村の災害復旧事業の代行制度の創設」など全8項目について、「徳島発の政策提言」として、施策の早期実現を求め、副知事が関係先を訪問。
- (2) 人的支援
- ・学校再開支援チーム 第1陣(5名)
4月8日に小中学校の始業式が行われることから、学校再開を支援するため、現地支援要員が、午前8時からの壮行式の後、宮城県に向け出発。
 - ・被災地支援(介護支援)チーム 先遣隊(2名)
在宅で介護を必要とする世帯の介護・生活援助、相談支援活動を行うため、午前8時45分からの壮行式の後、宮城県に向け出発。
 - ・被災地支援(復興)チーム 先遣隊(5名)
被災地の復興を支援するため、土木・農林水産分野の職員で構成される先遣隊が、宮城県に向け出発。
 - ・関西広域連合・徳島県宮城現地支援本部員 第2陣(2名)
壮行式を午後4時から実施。
 - ・東日本大震災「徳島県災害ボランティア先遣隊」の募集開始
今後のボランティア活動のリーダー的な役割を担っていただく方を対象に、「徳島県災害ボランティア先遣隊」を派遣することとし、参加者の募集を行います。
(受付期間)平成23年4月5日(火)・6日(水)両日
午前9時から午後5時まで

(参考)

1 広域緊急援助隊の活動状況

派遣内容		派遣先	備考
刑事部隊	10名	宮城県	第2次派遣
警備部隊	44名	宮城県	第2次派遣
交通部隊	7名	福島県	第2次派遣

2 日本赤十字社の医療救護班の派遣

派遣内容		派遣先	備考
医師	2名	宮城県	医療救護班(日赤 第6班)
看護師	3名	宮城県	医療救護班(日赤 第6班)
薬剤師	1名	宮城県	医療救護班(日赤 第6班)
事務職	2名	宮城県	医療救護班(日赤 第6班)

3 支援連絡要員の派遣

派遣内容		派遣先	備考
支援連絡要員	4名	宮城県	現地支援本部員

4 支援人員の派遣

(1) 避難所での医療救護, 健康対策

派遣内容		派遣先	備考
保健師	4名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)
事務職	2名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)

(2) 心のケア

派遣内容		派遣先	備考
医師	1名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)
看護師	1名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)
心理士	1名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)
事務職	1名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)

(3) 救護所等の医療支援

派遣内容		派遣先	備考
医師(救護所)	3名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)
看護師(救護所)	5名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)
薬剤師(救護所)	2名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)
事務職(救護所)	2名	宮城県	被災地支援チーム(第7班)

(4) 宮城県北部沿岸市町支援本部

派遣内容		派遣先	備考
事務職等	0名	宮城県	被災地応援派遣チーム(第2班)
事務職等	21名	宮城県	被災地応援派遣チーム(第3班)

(5) 教育対策

派遣内容		派遣先	備考
養護教諭等	4名	宮城県	被災地支援(教育)チーム(第6班)
養護教諭等	<u>5名</u>	宮城県	<u>被災地支援(教育)チーム(第7班)</u>

1～4までについては、前日からの変更箇所の下線を記入しています。

【関西広域連合（鳥取県）】

モンゴル中央県からの東日本大震災に対する義援金寄付

鳥取県の友好交流先であるモンゴル中央県から、東日本大震災に対して下記のとおり義援金を寄付したとの連絡がありました。

記

1 モンゴル中央県の義援金概要

3月15日、モンゴル中央県のエンフバト知事から、震災に関する書簡が届きました。内容は次のとおりです。

東日本大震災の被災地支援として、モンゴル国政府が義援金の寄付口座を開設し、行政組織・民間団体が募金活動を始めた。モンゴル中央県もこの活動に賛同し、官民を挙げて、1日分の給料を寄付することに決めた。

その後、モンゴル中央県から「集まった義援金のうち、半分はモンゴル国が開設した口座に振り込んだが、残りの半分は鳥取県を通して寄付したい」との申し出を受けました。

モンゴル中央県と調整した結果、振込手数料等により義援金が目減りするのを防ぐため、残りの半分は在モンゴル日本大使館が開設した口座に現地通貨で振り込んでいただき、大使館を通して寄付していただくことになりました。

2 義援金寄付額

47,231,502 トゥグルグ（=3,300,065 円相当）
（1トゥグルグ=0.06987 円、3月31日現在）

3 モンゴル中央県との交流のあゆみ

鳥取県とモンゴル中央県とは、1997年（平成9）年に「友好交流に関する覚書」を締結して以降、農業、文化、青少年、医療などの各分野で交流を進めてきています。

これまで、モンゴル中央県の雪害被害に対して、鳥取県から義援金を贈呈してきたことがあります（直近では、昨年7月に義援金50万円を贈呈）。

東北地方太平洋沖地震により影響を受ける県内中小企業者等の資金調達の円滑化に向けた配慮要請

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、被災地域の事業者の操業停止や生産縮小に留まらず、他の地域においても、製造業を中心に、その影響は徐々に拡大しています。

さらに、燃料高騰や荷物の減少による運送業への影響、国内外からの観光客の減少にともなう観光関連産業への影響など、県内中小企業者等の経営環境の悪化が続くことも想定され、その資金繰りについて懸念されるところです。

このような状況の中、この地震の直接、間接の影響を受けている県内中小企業者等の資金調達の円滑化に向けた取組の一層の推進について、県内金融機関、信用保証協会及び商工団体に対して、下記のとおり配慮要請を行います。

記

1 要請予定先

(1) 鳥取銀行

ア 日時 4月5日(火) 午前9時30分から45分
イ 場所 鳥取銀行本店(鳥取市栄町402番地)
ウ 面談者 代表取締役 宮崎 正彦(みやざき まさひこ)

(2) 鳥取県信用保証協会

ア 日時 4月5日(火) 午前10時から10時15分
イ 場所 鳥取県信用保証協会(鳥取市本町3丁目201番地(鳥取産業会館3階))
ウ 面談者 会長 青木 茂(あおき しげる)

(3) 山陰合同銀行

ア 日時 4月5日(火) 午前10時30分から45分
イ 場所 山陰合同銀行鳥取営業本部(鳥取市栄町402番地)
ウ 面談者 専務取締役 長井 勇喜夫(ながい ゆきお)

【参考：その他の要請予定先】

- (1) 民間金融機関 6 機関(3 銀行、3 信用金庫)
- (2) 政府系金融機関 4 機関
- (3) 商工団体 6 機関

2 要請者

鳥取県商工労働部長 山根 淳史(やまね じゅんじ)

3 要請内容

東北地方太平洋沖地震の影響による県内中小企業者等の厳しい経営環境を御理解の上、資金需要に対する迅速な対応、既往債務に対する個別実情に応じた柔軟な対応など、十分な配慮と取組の一層の推進

福島県へ派遣していた環境モニタリング専門家(第1班)の副知事報告会を行います

東日本大震災に伴う東京電力福島原子力発電所の事故に対応するため、文部科学大臣の要請を受けて、放射線モニタリング業務に従事する技術職員を派遣していました。この度、派遣予定が終了し、その副知事報告会を下記のとおり行います。

- 1 日時
平成23年4月5日(火) 13:30から
- 2 場所
県庁本庁舎 第2応接室
- 3 派遣職員 2名
衛生環境研究所 大気・地球環境室
室長補佐 田中 卓実
中部総合事務所生活環境局 環境・循環推進課 廃棄物担当
主幹 山田 裕平
- 4 派遣の概要
 - (1) 派遣期間
平成23年3月26日(土)～4月1日(金)(実働7日間)
 - (2) 活動内容
放射線量の現場測定、環境試料の採取・測定など